

「樹木を見る研修会」に参加して  
(さいたま新都心から大宮氷川神社参道)

2016年11月27日

雨が心配されていましたが、傘をさすこともなく無事に終了しました。参加者は9名でした。



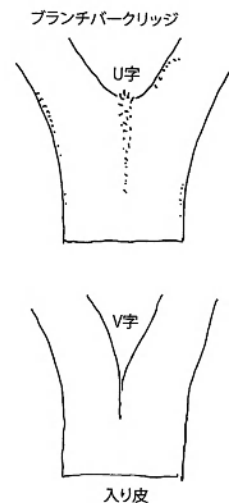
参道までの道で早速ヤマボウシを見つけました。この返り花（狂い咲きとは言いませんよ）の枝にはイラガの卵まで付いていて、賑わいもひとときです。一の鳥居から真っすぐ続く並木道は、紅葉と黄葉の盛りで、ところどころにある常緑樹がアクセントになっていて、2km程の道のりもあっという間でした。

樹高20m、目通り3～5mものケヤキの巨木が立ち並んでいて、昼夜変わらずお参りする人を見守ってくれているようでした。

この研修会は樹種の調査ではなく、樹木の生い立ちを調べるものです。

以下に、今回学んだものをいくつかあげます。

- \*ブラックバークリッジ=左右の組織が繋がって強くなった二又部分。
- \*入り皮=強風などで裂けやすい、左右の組織が繋がってない二又部分。
- \*こぶ病=ホルモン、カビ、菌等が原因とされる。
- \*捻れ、螺旋=それまでより強くなる（筋肉のような）
- \*ブランチカラー=木（枝）を切る際の受け皿
- \*クスの葉のダニ室
- \*クチクラ=ツバキ等常緑の硬めの葉に多い非細胞性、雨や乾燥、菌などから葉をワックス状のものでコーティングして守っている。



樹木を観察していると必ず見られるのが鳥です。今回初めてアトリを見ました。ケヤキの巨木上で群れてケヤキの実を食べて、葉を落としていました。頭の盛り上がりを感じれば、次回は私でも探せるかもしれませんね・・・。

また、大宮公園で飼われているシラコバトも見ることができました。こちらも初めてです。想像していたよりも小さく、真っ白でもないのですが可愛らしい鳥です。（県の鳥になれるだけの可愛さは十分ですね）。帰りに大きなムクの木になっていた実をひと口、ん～～。ご馳走様でした。



最後にヒナノハイゴケ、おひな様のおチョボロが沢山並んでいる様な、ルーペで覗くと何とも可愛いこと。多くのことを学び、笑い、楽しい研修会でした。大好きな樹木の気持ち（思いや願い）を少しでも理解できれば・・・と思います。先生方、皆さん、有難うございました。

(おまけです。大根を一度凍らせると細胞が破壊され、味が早く染みやすくなるようです。おでんの際には是非お試しください。)

森 静江